

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

西陣織



5～6世紀頃、豪族・秦氏が養蚕と織物をはじめたことに起源し、15世紀応仁の乱の後に基盤を築く。西陣織は極めて多種多様で、綴、錦、緞子（どんす）、お召、絣、縞、天鷲絨（ビロード）等があり、多色の糸を使用し絢爛豪華な糸使い模様の精緻さを特色とする。和装用帯を主力に着尺地、能、神官衣装、インテリアなどが生産されている。

制作：京都市

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

西陣織



5～6世紀頃、豪族・秦氏が養蚕と織物をはじめたことに起源し、15世紀応仁の乱の後に基盤を築く。西陣織は極めて多種多様で、綴、錦、緞子（どんす）、お召、絣、縞、天鷲絨（ビロード）等があり、多色の糸を使用し絢爛豪華な糸使い模様の精緻さを特色とする。和装用帯を主力に着尺地、能、神官衣装、インテリアなどが生産されている。

制作：京都市